

欧州では最近、狂牛病や口蹄(こうてい)疫発生の影響で「肉食離れ」が話題。ところが日本ではむしろ肉食がブームの一様相だ。

例えば米国の「ロウリーズ」。このほど東京に上陸、赤坂ツインタワーに開業した。一九三八年ロサンゼルスで創業以

て、経営するワンドーテーブルの林祥隆専務にとっては「ロサンゼルスで一番好きな店」で、三年かけてライセンス契約を得た。

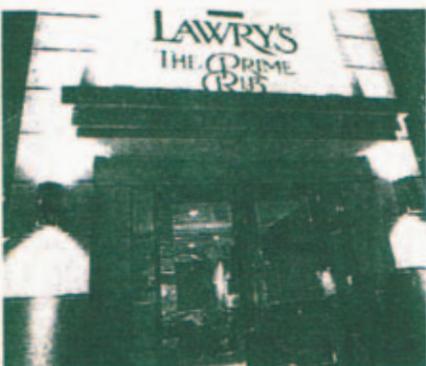
米国のチューン店「アウトバック・ステーキハウス」も品川、南町田、練馬、渋谷、南平台と都内でオープンが続いた。「こちらはリーズナブルな価格で「お子様」メニューもあり、ファミリー向けを前面に打ち出している。

格安の焼き肉チキンなども相変わらずの人気で、一連の海外の騒動は幸い日本に飛び火する気配はない。最近の欧州の空気との違いが、かつては魚を中心のイメージがあった私たちの食生活の変化を、ぐっかりと浮かび上がらせている。

(「食チャンネル」プロデューサー)

## ウーマン アイ

### ローストビーフとステーキ



豪快なイメージがあるローストビーフだが、実は二十五歳から四十歳代の女性を重要なターゲットを見ている。周辺がオフィス街なので外資系企業などで働く人のグル

矢幡 聰子